

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月13日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	茨木市	代表者名	福岡 洋一
担当者部署	企画財政部	連絡先電話番号	072-620-1607
担当者役職		担当者氏名	
住所	567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉田 稔
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	現在の本市の被災者支援システムの整備状況や、大阪北部地震における被災者支援業務の実態等の状況を伝え、アドバイザーと現状認識を共有し、2日目以降のICTの活用に向けた講演内容、被災者支援システム整備に関して支援いただく内容について、詳細に調整ができたため。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月10日	13時30分	17時30分		240
3-2. 派遣場所	会場名	茨木市役所	最寄駅	JR茨木駅	
	所在地	茨木市駅前三丁目8番13号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩約10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市職員だけでは専門的な知識が不足し、GISとの連携など、システムに備わるすべての機能の整備が完了していない。罹災証明書の発行にあたって、税情報で管理している地番情報と住民基本台帳の住所情報をシステム上では関連づけることができないなど、本市の実情に合わない点もあり、改修が必要であるが、職員の技能だけでは改修が困難な状況となっている。また、全庁的には被災者台帳の重要性に関する認識が共有できておらず、システムへの理解も不足している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員に被災者台帳の重要性に関する認識を共有させるとともに、被災者支援システムに備わる避難所関連システム、緊急物資管理システム、被災予測等・復旧復興関連システム等、様々な関連システムに関する整備を完了させ、災害時の全庁的なシステムの活用を想定して早期にシステムの展開を完了させること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①災害対応におけるICT利活用に関する講演に関する事前打合せ ②茨木市の被災者支援システムの現状と完全運用に向けての進め方について ③最新の被災者支援システムの開発者版の説明 ④茨木市の総合防災情報システムに関する質問事項の説明と次回までの回答要請(課題として受領)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	事前打合せのため特になし	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事前打合せのため特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打合せのみであったため、実施していない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	被災者支援システム及び関連システムの本稼動	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		